

2019.3.9-14 スイス 6 日間の旅

< 3/9 (土) ; 1 日目 チューリッヒ >

- ・ 成田空港を 1040 発。
- ・ 12 時間フライトが苦にならない。映画 ; ポヘミアンラブソディーに再び感動。
- ・ 現地時間 15 時過ぎに着。最高のフライトだった。空港から鉄道で中央駅まで 15 分。
- ・ チューリッヒはあいにくの雨。駅からホテルは約 10 分。駅前の風情がグッド。
- ・ ブリストルホテルにチェック後、すぐに街の散策。中世の雰囲気。
- ・ ガイドブックに紹介されていた「ヨハニター」にて仔牛のワイン煮とビール。



< 3/10 (日) ; 2 日目 ツェルマットへ移動 >

- ・ ホテルの朝食。パンもヨーグルトも美味しい。
- ・ 7 時半にホテル発。中央駅でコーヒータイム。
- ・ ヴィスプまでの特急は 2 階指定席。ベルンなど良い景色。
- ・ ネットで下調べしていたので乗り換えもバッチリ、ツェルマットへ 1215 着。
- ・ アンバサダーホテルに荷物を預け、いざ、登山列車にて、ゴルナーグラート展望台へ。
- ・ 展望台はマイナス 15 度の吹雪。全くマッターホルンは見えず。モンテローザは少し見えた。展望台では 2 回滑って転んだ。端から落ちれば命はないなあ。気をつけた。

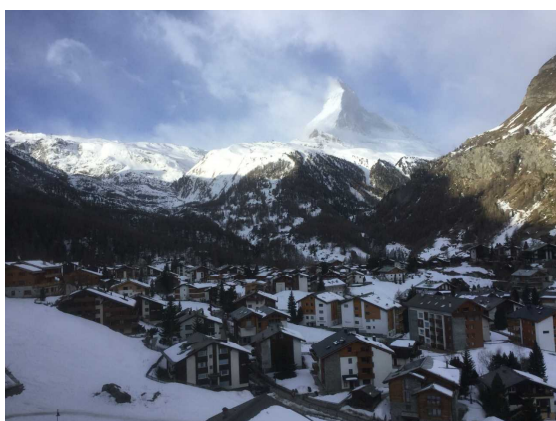


- ・展望台ホテルのセルフカフェはグッド。コーヒーとクロワッサン。孫に絵葉書書き。
- ・帰りはマッターホルンが少し見えたのでリッフェルベルグにて途中下車。8割くらい見えたかな。
- ・スキーヤーだらけの登山電車。
- ・18時前にホテル着。さすがにアンバサダーは四つ星。素晴らしい。
- ・ミニバーで乾杯。ビールは小瓶で良い気分。夢の1日。明日もきっとすごいぞ。



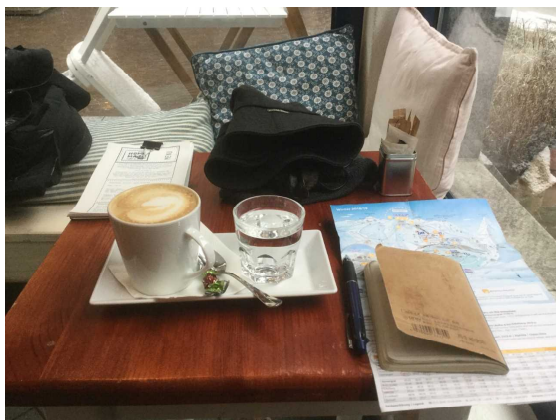
< 3/11 (月) ; 3日目 ツェルマット >

- ・5時半起床。支度を早めに調べて、7時朝食。7時45分にホテルを出て、8時発の始発ゴルナーグラート行きに乗車。
- ・驚いたなあ。右手に昨日見えなかったマッターホルンが大きく…。これだけで感動。
- ・8時半過ぎ、展望台に着。誰一人いない。有名な展望台を独り占めとはすごい。晴れてはいたが、マッターホルンは見えず。残念。それでも記念撮影はたっぷり。
- ・展望台Cafeも一人だけ。すごいな。コーヒー、読書で1時間。
- ・10時過ぎのツェルマットへの戻り電車乗車。リッフェルベルグでは、昨日見えたマッターホルンが見えず。神様が昨日は見せてくださったということ。ロッジレストランでコーヒーと読書。それもよし。



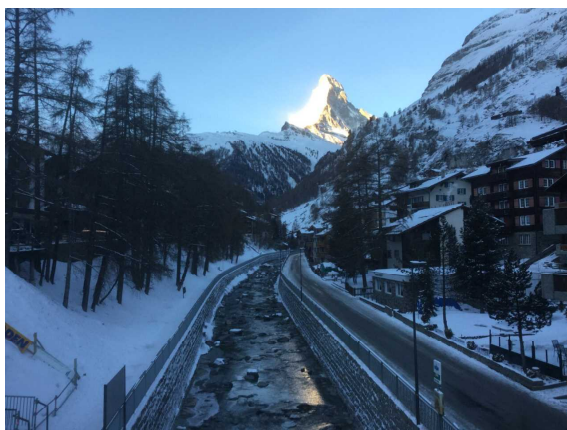
- ・途中から街は大雪。こじんまりとしたCafeで読書しながら外の景色を眺めた。
- ・スーパーでビールとクロワッサンを買ってホテル戻り。昼からビール。贅沢な時間だ。
- ・せっかくのツェルマットの夜。外をぶらぶらと。綺麗な街だ。

- ・スーパーでビール、チーズ、サラミを買ってホテルへ戻り。
- ・明日はツェルマットの最終日。もしかすると人生で最後に観るツェルマットかも。大事にしよう。マッターホルンにまた会いたいなあ。スネガ展望台に行ってみよう。
- ・ちょこちょここと読書して「彗星物語」読了。よかったあ。
- ・9時半就寝。早めに。体力温存。



< 3/12 (火) ; 4日目 チェルマット最終日 夕方、チューリッヒへ移動 >

- ・早く寝ると、夜中の3時頃目が覚める。身体はすごいな。5時過ぎに起床。天気はどうかかな？
- ・支度を調べ、6時半頃、青空が見えたので、朝食前に大急ぎで、マッター・フィスパ川の橋へ。新田次郎が「坐したる巨人」と形容したマッターホルンに対面。圧倒された。
- ・30分くらい、橋の上からマッターホルンを眺めた。神様に感謝。
- ・朝食も大急ぎで済ませ、チェックアウト。荷物を預かってもらい、スネガ行きロープウェイへ。40度の斜面を高速で移動。わずか3分。高低差683メートルとか。標高は2288メートル。スキーヤーで満杯だった。スネガで下りるとすぐに、雄大なマッターホルンに遭遇。これは一番の絶景スポットだ。また神様に心から感謝。3日間ツェルマットにいれば出会えなかった景色。8時45分。人生でもトップクラスの時間。展望台はまだ整備中。人も数人いたのみ。これも早く動いたからこそ。本当に幸せ。しかも徐々にピークが雲に隠れ始めたのだから、やはり、頑張って早朝、登って良かった。「スネガから見るマッターホルンの姿が一番美しい」という人も多いとか。本当にそうかもしれない。幸せだ。ピークもバッチリ見えた。



- ・夢であったマッターホルンを観ながらコーヒー、読書。これもバッチリ叶った。神様からのご褒美。本当にそう思う。頑張ってきて良かった。またこれからも頑張る！
- ・11時半に一度帰りかけたが、後ろ髪を引かれ、もう一度、カフェオレを頼み、今度はテラスの一番前の特等席にて30分、景色を独占。これもすごかったなあ。一番良い写真がとれたのでは。コーヒーカップを手にした写真もいいが。
- ・妻、母、米内沢の両親、孫、息子夫婦に見せるつもりで自分の目に焼き付けたマッターホルン。今度は息子と一緒にゆっくり来たい。冬のツェルマツト。もう一度。



- ・12時スネガ駅発。ホテルを12時半前に出て、駅前のレストランにて。コーラとイタリアンベジタブルスープ。このスープはスイスで食べたもののなかで一番美味しかった。ヴィスプ行きの電車は15時半過ぎ。少し、ツェルマツトでの3日間を振り返る。初日、二日目と出会ったマッターホルンは、今日への序章。本当に素晴らしかった。この景色に出会いたくてスイスに来た。昨日の大雪を考えれば、今日は奇跡。諦めないでよかった。そして、旅も「まだまだこれから」。気を抜かないように。チューリッヒの夜はどうか。これも楽しみだ。
- ・19時過ぎ、暗くなったチューリッヒ中央駅着。駅でピザを買って夕食代わり。ホテルへ。同じホテルなので迷わず。

< 3/13 (水) ; 5日目 チューリッヒ >

- ・スイスのラスト日が惜しくて4時半起床。早めに支度して6時半から早朝の街並みを散策へ。チューリッヒ湖まで15分。そこから帰りはバーンホフ通り。ペスタロッチの銅像も見た。
- ・昨日のマッターホルンが目に焼き付いている。夢の実現だった。
- ・7時半にホテルに戻り、朝食。8時半過ぎにホテルをチェックアウト。9時過ぎの電車に乗り、空港には9時半前に着。
- ・お土産はスイスチョコレート。11時にはスイス出国。素晴らしいスイス5日間だった。
- ・機内では4本映画鑑賞。「サニー」が良かったなあ。「万引き家族」もまあまあ。
- ・飛行機に何時間乗っても時差ボケがないのは有り難いこと。
- ・機内食が一番美味しいのはスイス航空かも。

スイス、マッターホルン、また必ず行く！

